

CEFR-J レベル

PreA1

技能

Spoken Production

Can Do descriptor

前もって話すことを用意した上で、基礎的な語句、定型表現を用いて、人前で実物などを見せながらその物を説明することができる。

テスト・タスク

ALT の先生の授業で、「お気に入りの物 (my favorite item / thing)」を紹介することになりました。お気に入りの物は、本・文房具・服・小物など、何でもかまいません。説明する際、そのお気に入りの物が手元にあるつもりで、指し示しながら話してください。準備時間は 1 分、話す時間は 30 秒です。

解答例

- This basketball. I use long time.
- My pen. This color...good.

採点基準

- A: お気に入りの物を見せながら、それに関して説明できる (例: 物の名前と、誰にもらったか、なぜ好きか、特徴の説明などの情報を 2~3 点程度)。
- B: お気に入りの物を見せながら、それに関して簡単に説明できる (例: 物の名前と、誰にもらったか、なぜ好きか、特徴の説明など情報をひとつ程度)。
- E: お気に入りの物に関して何か言っているものの、言葉が足りない、内容に不明瞭な点があるなどの理由で、情報が部分的にしか伝わらない。
- C: お気に入りの物に関してほとんど何も説明できない。  
(A: 当該レベルより上、B: ちょうど当該レベル、C: 当該レベルに少し届かない、  
D: 当該レベルに全く届かない)

開発段階

第 1 期 (作成) 第 1 期 (実施) 第 1 期 (分析)

第 2 期 (改訂) 第 2 期 (実施) 第 2 期 (分析)

メモ

語・句単位で意味をなす発話が成り立っていてタスクを遂行できていれば、必ずしも発話が文になっていなくても B 評価とする。なお解答例を理解できる程度の発音で話せれば、B 評価である。

開発担当者

和泉 絵美